

報告書の構成概要

tags:報告

章立て

昨年度の提案書に対応

スタイル

対応の重みづけとロードマップ

1 松枯れ対策と森林の再生

今回の背景となった森林保全対策の具体化 小面積単位で現状把握 > 仕組み化 マツ林の状態と性質による対策の方向性 > 森林整備と目標林型

2 森林の利活用の枠組み

単なる面的ゾーニングではない機能区分

防災

里山

林業生産

3 森林の取り扱いと環境政策

環境資源としての森林 松本版「グリーンリカバリー」

4 人材と組織

政策づくりのプロセス

松本市森林再生市民会議

会議の構成と構造 ロードマップ

専門家の配置、育成

行政専門職 森林管理全体を統括する専門員（山守型フォレスター）

5 引き続きの課題

実行体制づくり

実行会議の継続？

新たな実行体制づくり

市町村森林計画との関係

所有者確認や境界の明確化

森林所有者との合意形成

地域づくりの中で 森林を捉える